報告（１）

令和５年２月１３日

君津市教育長　粕谷　哲也　様

君津市社会教育委員会議
委員長　石井　良幸

「君津市地域拠点の体制に関する指針（案）」について（建議）

君津市の各公民館は、これまでも住民の学習、交流、地域活動の支援を通じて、地域づくりに尽力し、その活動は高く評価できます。

小糸地区、清和地区、小櫃地区及び上総地区における新たな地域拠点体制の指針については、君津市総合計画に定める「持続可能な地域づくり」を進めるため、その必要性は理解しつつ、その核となる公民館の体制について、各委員から意見が出されております。

つきましては、新たな拠点施設において公民館がしっかりとその責務と機能を果たし、地域課題の解決や地域活性化がより一層図られるよう建議します。

記

**１．新たな時代に向けた方向性について**

教育機関である公民館と行政センターは、業務内容、性質が大きく異なるため、本来であれば個々で発展させるべきものと考えますが、現在の本市の諸状況に鑑み、また両機能を維持発展させつつ、より深い連携という点で、一体的運営を行うことについては理解をいたします。

ただし、教育委員会が所管する教育機関としての公民館の意義と機能を損なうことがないよう、十分に留意した上で進めてください。

**２．公民館に期待する役割について**

現在、誰一人取り残されることなく生きがいを感じることのできる包摂的な社会づくりが求められており、「つながりの再構築」が大きなテーマとなっていることから、施設の複合化、行政事務と公民館の一体的な運営によって地域内外の住民の様々な交流が生まれることに期待します。

一方で、高齢者や障がい者など、拠点を利用できない住民もいることから、公民館の主催事業においては、拠点での活動の他、地域に出向き誰もが社会参

加できる地域づくりを推進する体制を採れるよう十分な配慮をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館サークルの活動休止や解散、地域活動の衰退など、地域の人のつながりや関わり合いの変質があったことを受け、地域団体、公民館サークルなどを積極的に支援し、地域の人に親しまれる施設づくりを大切にしてください。

## 3．公民館の適正な職員配置について

これからの持続可能な地域づくりには、住民を支え、住民と伴走する職員の存在が不可欠です。学びを通じた「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み、持続的な地域コミュニティを支える基盤づくりを担う新たな施設の職員配置には、次の点に十分留意してください。

①職員の併任にあたっては、併任の意味を重く捉え、市長部局、教育委員会の職務双方が対等関係にあることを十分に踏まえ、職務遂行に偏重などが生じ、公民館業務が停滞することがないようにしてください。

② 所長・館長の位置づけは極めて重要です。教育機関と行政機関双方の広範囲な内容を扱い、また行政業務と教育業務という大きく異なる性質の業務をとりまとめる長として、行政、教育双方に見識深く、地域住民が親みやすい長を配置してください。そのために、長または長を補佐する立場に、公民館の専門職の配置に努めてください。

③ 夜間、土日の事業実施などが多く、地域に出ることも多い公民館業務の特殊性から、公民館業務に携わる職員の適正数配置をしてください。また、教育機関として社会教育専門職員が厚く配置されるようにしてください。

④ 職員が公民館、行政業務に自信と責任をもって携われるよう、研修機会の確保をしっかりと行ってください。

## 4．住民との対話機会について

今回の案は、教育機関と行政機関とのあり方にかかる極めて重要なテーマですが、残念ながら、委員として事前に十分な協議が持てたとは言い難い状況にあります。また、令和４年度当初の生涯学習文化課と生涯学習交流センター・君津中央公民館における組織再編、スポーツ推進課の市長部局移管にあたっては事後報告であり、その点も残念に感じています。

今回の指針にもとづく今後の進捗、および、教育行政、教育機関のあり様の検討にあたっては、関係委員はもちろん、住民との対話の機会をより重視していただくようお願いいたします。

以上

参考資料

「君津市地域拠点の体制に関する指針（案）」について

1. 社会教育委員会議からの意見概要

・地域の課題解決や地域活性化に、これまで果たしてきた公民館の役割が活かされることは望ましい。地域にしっかりと向く新たな時代へのチャレンジは重要。だが、公民館と行政センターは、業務内容、性質が大きく異なる。本来、個々で発展させるべき。だが、今の状況下、両機能の一体的運営は理解をする。ただし、公民館の運営の後退があってはならない。

・指針案をみると条例は残る。公民館は、社会教育法ならびに「君津市公民館の設置及び管理に関する条例」に基づく本市教育委員会の社会教育機関としての位置づけの堅持を。

・市と教育委員会の二元性を踏まえ、市長部局の行政機能と公民館の一体的な運営においても、双方の対等性を堅持すること。

・「併任」の意味の重さどおり、市と市教育委員会の職務双方が対等関係にあることを十分に踏まえ、職務遂行に偏重などが発生しないようにしてほしい。行政事務が忙しく、公民館業務ができないといったことがないように。

・施設の複合化、行政事務と公民館の一体的な運営によって地域内外の住民の様々な交流が生まれることは期待する。一方、高齢化に伴い拠点を利用できない住民もいるため、そのような人を取りこぼさないようにしてほしい。そのためには、公民館の業務を低下させず、親しめる公民館を大切にしてほしい。

・職員が「施設の外・地域に出られる」体制を大切にしてほしい。公民館業務として職員が積極的に地域に出られるよう、行政業務と公民館業務のバランスが適正となるようにしてほしい。

・公民館サークル、地域団体などを積極的に支援し、地域の人に親しまれる施設づくりを大切にしてほしい。

・所長・館長の位置づけは極めて重要。教育機関と行政機関双方の広範囲な内容を扱い、また行政業務と教育業務という大きく異なる性質の業務をとりまとめる長として、行政、教育双方に見識深く、地域住民が親みやすい長を配置してほしい。そのために、長または長を補佐する立場に、公民館の専門職の配置してほしい。

・夜間、土日の事業実施などが多く、地域に出ることも多い公民館業務の特殊性から、公民館業務に携わる職員の適正数配置を。教育機関として社会教育専門職員が厚く配置されるようにしてほしい。

・職員が公民館、行政業務に自信と責任をもって携われるよう、研修体制をしっかりと。

・今回の案は、教育機関と行政機関との在り方にかかるたいへん大きなテーマだがもっと早く知らせてほしかった。令和４年度当初の生涯学習文化課と生涯学習交流センター・君津中央公民館における組織再編、スポーツ推進課の市長部局移管にあたっては

事後報告だった。守秘義務は果たすので、もっと早く対話の機会がほしい。

・今回の案をもとにした試行にあたっては、課題等をもとに見直し、修正等ができるよう社会教育委員も力を出して応援するので言ってほしい。
※今後意見書など用意したい。

2．小糸清和地区公民館運営審議会からの意見概要

・方向性はおおむね理解する。業務内容によって、公民館機能と行政機能が一体的に地域に向けて動くのは良いことだと思う。
・だが、これまでの公民館機能が後退することは本末転倒になるため、そうさせないようにしてほしい。
・広範囲の業務を行う中で、行政事務等が優先され公民館業務がおろそかになることがないようにしてほしい。
・直営の形はしっかりと残してほしい。
・公民館も行政センターもスタッフがとても重要。地域の人に親しまれ一緒に動いてくれる人を配置してほしい。
・長の立場は極めて難しい。研修などしっかりした体制を。
・公民館スタッフが頑張っている。地域を盛り上げていくためにもっと力を出せる環境がほしい。公民館もセンターも、少なくとも今の人数が減らされることがないようにしてほしい。
・スタッフの研修をしっかり行ってほしい。とくに公民館も行政センターも地域に親しまれることが重要。新しい体制になって住民が離れることがないようにしてほしい。
・地域の担い手をつないでいく住民を育てるためにも、社会教育の専門職は重要。その点を厚くしてほしい。
・行政業務と性質が異なる公民館の特殊性が崩れないようにしてほしい。
・現状の中、このような一体的運用もやむを得ないことを理解する。だが、この間、施設の点でも小糸は１年半置いてけぼりにされた感が否めない。地域活動にも大きく支障が出た。その状況の中で、突然この説明を聞いても素直に１００％理解できるとは言えない。その気持ちを汲んでもらいたい。大局では理解する。あとは本当に地域のためになるか、しっかり目を向けて各論に取り組んでほしい。
・公民館は外に出ることが得意。その得意分野をしっかりすすめ、そのノウハウを行政センターも生かしてほしい。行政センター職員、公民館職員がともに得意範囲を出し合い、学び合って一緒に地域のために動ける仕組みにしてほしい。そのために地域がしっかり向上するよう、公民館の体制も拡充してほしい。

報告（２）

# 令和５年２２歳のつどいについて

## １．令和５年２２歳のつどいの参加状況について

市内対象者数約７７７名（１２月３１日現在、平成１２年４月２日から平成１３年４月１日生まれ）で、当日の参加者は１２４名（事前申込者１５７名）、参加率およそ１５．９６％でした。家族の方などの観覧者は８名おりました。

## ２．２２歳のつどいの取り組みについて

### （１）式次第及び催しの概要について

**①　開会**

**②　主催者あいさつ（石井市長）**

**③　来賓挨拶（川名県議、三浦市議）**

**④　来賓・主催者紹介**

来賓招待者：川名県議、平田県議、三浦市議（議長）、奈良輪市議（副議長）、
佐藤市議（教育福祉常任委員会委員長）

主催者：石井市長、粕谷教育長

**⑤　市民歌動画上映**

・令和３年成人を祝う集い特別企画で作成した君津市民歌動画を上映しました。

**⑥　２２歳のメッセージ**

・地区代表７名から近況報告、２２歳を迎えた抱負について語っていただきました。

**⑦　閉会**

・閉会後、檀上や会場入口フォトスポットでの自由撮影時間を設けました。

## ３．成果と課題

### （１）主な成果

・参加人数こそ少なかったですが、各地区代表者による「２２歳のメッセージ」の中で、開催されたことに感謝する声や久しぶりに仲間と顔を合わせる機会となった、今回のつどいが仲間と集うきっかけとなったなど、開催に対して感謝の言葉がありました。

・また２２歳のメッセージでは、社会人として活躍されている様子や間近に控えた就職に対する意気込みなどが語られ、会場からは同年代の仲間を励ます大きな拍手が贈られるなど、参集型のつどいならではのあたたかな雰囲気がありました。

### （２）主な課題

・対象者への情報の届け方について、広報きみつ、SNS、住民票登録者へのはがきの送付などを行いましたが、参加者数に結び付きませんでした。また、直前で申込者が増えるなど、ぎりぎりまで参加を調整している様子も見られ、限られた条件の中で準備を進めてきましたが、開催時期についての課題がありました。

報告（３）

# 中央図書館開館20周年記念事業報告

| | | 内容 | 実施報告 |
|---|---|---|---|
| 展示 | | ２０年間の直木賞・芥川賞／ベストリーダー展示 | ※貸出数の統計なし |
| | | 図書館職員のすすめるこの一冊　2023年版 | ※貸出数の統計なし |
| | | みんなのすすめるこの一冊 | 友の会・読書会の協力者数：18名 |
| | | ブックツリー（参加型） | 書いてくれた方の人数：48名 |
| | | あなたと図書館（参加型） | 書いてくれた方の人数：60名 |
| | | 花王国際こども環境絵画コンクール入賞作品展 | 1/10～2/12来館者数　22,526名 |
| イベント | 1/28(土) | 文芸講演会 | 参加者数　80名（満席） |
| | 1/29(日) | 【花王】エコクイズ | 参加者数（大人）300（子ども）115 |
| | 1/29(日) | ミニブックリサイクル | 197名　722冊<br>（総計:1/29～2/26　1,177名 3,231冊） |
| | 1/28,29 | ひまわり号の展示・貸出 | 1/28(土)10:30～11:00　９名　３６冊<br>1/29(日)10:00～11:30１９名　７８冊 |

1/28 文芸講演会

1/28-29 ひまわり号展示

事業でみる図書館のあゆみ展

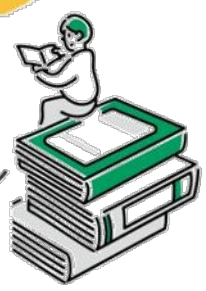
1/29 花王ゴミ削減エコクイズ

1/29 ミニブックリサイクル

# 各種展示

## 事業でみる図書館のあゆみ

会場：エントランスホール



## 君津市漁業資料館

会場：ギャラリー

## みんなのすすめるこの１冊

会場：企画展示室

## 花王国際こども環境絵画展

会場：フリースペース
ティーンズコーナー

**（1/10~2/26）**

**※花王国際こども環境絵画展は
2/12(日)まで**

## 1月29日（日）

**会場:中央図書館入口　フリースペース**

**リサイクルを考える**

### ゴミ削減エコクイズ

（包括連携協定企業・花王協賛）

**時間:午前10時～午後４時**

**ミニミニ**

### ブックリサイクル

**時間:午前10時～本がなくなるまで**

**申込不要！直接会場へお越しください。**

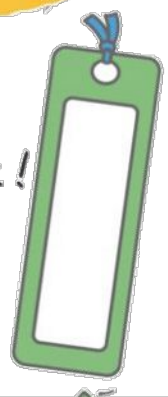
## 移動図書館ひまわり号展示・貸出

**１月２８日(土) ／２９日(日)**
**午前10時30分～11時30分**

普段はステーションでしか見られない移動図書館に入って本を借りられます。

## 開館２０周年記念しおりを配布します！

図書館友の会きみつの皆さんが、記念しおりを作成してくださいました！
館内でご希望の方に配布します。



報告（４）

# 周西南中学校区及び上総小櫃中学校区コミュニティ・スクールの取組状況について

## １　周西南中学校区コミュニティ・スクール

### （１）学校運営協議会の状況について

年４回会議を実施

第１回　５月１１日
　内容　委嘱状交付、会長、副会長選出、令和４年度学校運営の基本方針について、
　　地域学校協働本部について
第２回　９月１４日
　内容　前期学校評価について、地域学校協働本部について
第３回　１２月１４日
　内容　後期学校評価について、地域学校協働本部について
第４回　令和５年２月１６日
　内容　令和４年度学校評価及び次年度学校運営の基本方針（案）について、
　　地域学校協働本部より、来年度の活動について

### （２）地域学校協働本部の状況について

５月１４日の設立総会を経て、役員による月例会と部会員による会議が催されている。
月例会　　４月１５日、６月３０日、７月２０日、８月３１日、９月２１日、
　　１１月１６日、１２月８日、１月２７日、２月１４日
主な活動内容（役員会）　　見守り活動
　　（学校支援部会）小中学校の木の伐採・環境美化活動
　　（地域交流部）しゃべり場、脱出ゲーム（中学生企画・小学生対象事業）
　　（広報部会）周西南中学校区コミュニティ・スクールリーフレット作成

## ２　上総小櫃中学校区コミュニティ・スクール

当初は令和４年度に導入予定だったが、学校と地域の状況から計画を延期した。この間、学校からの声掛けで地区青少年相談員、公民館職員等の関係者との教育懇談会が開かれている。教育懇談会では、令和３年度に地域の小中学校の統合が整い、上総小櫃中学校区を一つの地域として、９年間でどのような子どもを育てていくのかをテーマに話し合った。

今後は、継続的に情報交換の機会を持ちつつ、コミュニティ・スクール推進委員の選出に向けて取り組みを進めていく。